

道徳だより こころのたね

心の教育もスタートします

新年度が始まり、1か月が過ぎようとしています。新しい学級、新しい教室、新しい友だち、新しい先生というように、新年度は新しい事に囲まれてのスタートです。

馬込小学校では、道徳だよりを隔月で発行しています。学校の教育目標の中に、「心の豊かな子ども」があり、この心を育む道徳教育の中心的な役割を果たしているのが道徳の授業です。この道徳だよりでは、本校の道徳教育がどのように行われているかをお伝えしています。そして学校・保護者・地域がともに心の教育について考える機会になればと願っています。（文責：道徳部 久慈 利幸）

今年2月の道徳アンケートの集計結果

2月の学校公開時における道徳のアンケートでは、多くの保護者の方々から回答をいただきました。ご多用の中、ありがとうございます。以下に集計結果およびコメントの一部を紹介させていただきます。

① 家庭では、道徳について子どもと話をすることがある。

よくあてはまる(26.7%) あてはまる(47.7%) あまりあてはまらない(25.6%)

② 子どもたちの道徳的な心を育むために、学校の役割は大きいと思う。

よくあてはまる(61.6%) あてはまる(38.4%)

③ 今後の学校での道徳教育に期待することはありますか。

ある(76.7%) ない(23.3%)

☆「ある」と返答された方々のコメント

- ・SNSなどの使い方について、学校(道徳の授業を含めて)での指導をお願いしたい。
- ・教育アプリの発達により学習の仕方の選択肢は増えたが、道徳教育は学校でしか学べなく、学校での指導に期待している。
- ・多様性などを学ぶ機会をより多く設定してほしい。

コメントの中で多かったご意見に、「学校という集団生活の中でこそ、人との関わりを通じて認め合える心を学んでほしい」というものがありました。心の教育に即効性はありませんが、いろいろな場面や活動の中で、子どもたちの道徳性を育てていきたいと思えます。

⇒裏面に続きます

3年生の道徳の授業

初回は3年生です。「めざまし時計」という教材で学習をしました。自分でできることは自分でやり、節度のある生活をしようとする心情を育てることをねらいとした授業です。

内容項目：節度・節制

あらすじ：めざまし時計を買ってもらった主人公は、規則正しい生活をするを目標に立てます。しかし、計画は立てたものの、「きまりはいつでも守れるから、もう少し夜更かししよう。」と思い始めてしまいます。そんなある日、朝起きられなく、朝ご飯を食べないまま学校へ。全校朝会で気分が悪くなり、保健室で休むことになりました。ベッドの中で、主人公である「わたし」はどんなことを思ったのでしょうか。

教師の問い

○保健室のベッドは、「わたし」はどんなことを考えていたのでしょうか。

子どもたちの考え

- ・お母さんが悲しむだろうな。なぜ自分で決めたことを守れなかったのだろう。
- ・夜更かしをしなければよかったな。お母さんを悲しませてしまった。
- ・なんで夜更かしをしてしまったのだろう。時間を守ればよかった。

授業の後半では、授業のねらいである「規則正しい生活」について、あらためて子どもたちの意見を聞き、ふり返りをしました。

教師の問い

きそく正しい生活をするために、どのような気持ちが必要でしょうか。

子どもたちの考え

- ・自分で決めたことは、誘惑があっても最後まで諦めない気持ち。
- ・早寝早起き朝ごはんをすること。
- ・自分自身に約束する気持ち。
- ・時間を守る気持ち。

今回の授業を通して、子どもたちからは「自分で決めたことは守らないと、自分自身がつらくなる。また自分を支えてくれた人をも悲しませてしまう。」という意見が多く出ました。『節度のある生活をしよう』という授業のねらいに近付けたと思います。

